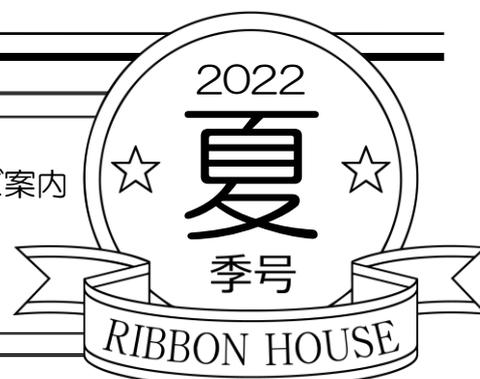


# ぱすてるRIBBON

～今号のぱすてるリボン～

- 春期特別講習 2022 のご挨拶 ○夏期特別講習 2022 のご案内
- 夏号の「のぞいてみよう！」 ○ティーチャーズ
- 講師の紹介 ○まんが入門コース講座作品
- 生徒さんの作品 ほか



## 「札幌市円山動物園写生会 2022」

(5月21日(土)開催)



ご参加いただきまして心よりお礼申し上げます。

代表 岩田 美香・講師一同

# 春期特別講習 2022

ご参加ありがとうございました

2022年3月23日(水)～2022年4月6日(水)までの期間、大通教室にて春期特別講習を行いました。今回もたくさんのご参加をいただきまして、誠にありがとうございました。

## Aコース「2, 3才児60分・年少組90分・園児150分・小学生自由研究150分コース」

(講師：冬野 英代)

特別講習の「ジュエリーBOX」では、和紙を好きな色に染めて箱の周りに飾りました。染める時には、子供たちの笑顔が見られ楽しんで制作されていました。「キューブモバイル」では、プラバンにガラス用の絵の具で絵を描き、それを切って接着剤で合わせて立方体や四面体を作ります。接着剤で張り合わせる際に苦労していた分、完成した作品を見て喜びが湧き上がっていたようです。夏期講習も楽しい工作、工芸を考えていますので、ぜひ参加していただくと嬉しいです。

## Bコース「園児・小学生クラス 絵画の基本特別コース」

(講師：冬野 英代)

水彩画の基本となる絵の具の使い方を学び子が多くいました。絵の具と水の配分を考えて、練習としてこのぼりの鱗を塗ったり、自分の顔を塗ったりと濃淡を意識しながら絵を描く体験がたくさんできました。デザインでは、色鉛筆を使って12色相環を表したりグラデーションを意識した配色の組み合わせを考えたりと悩みながらも満足いく作品を完成することができました。ぜひ、今回の体験を生かし、さらに向上されることを願っています。夏期講習をお待ちしています。



▲ペンネーム：かづき。  
「毎日ペンギン～蛸の日～」

## Cコース「中学美術科授業対策コース」 Dコース「芸術コース」

(講師：岩田 美香)

新年度を前に基礎から制作を行いました。デッサンでは、人気の人物クロッキーを中心に手のクロッキーデッサンや10色グラデーション、ピーマンのデッサン等を行いました。特に小学6年生から中学生さんのご参加が多くて、毎回白熱しておりました。大人のご参加も多く、皆さんどんどんレベルアップされました。その他に油彩画や透明水彩画、平面構成デザイン等、毎回様々な制作のご参加がありました。新しい学年で是非生かしていただきたいと願っております。夏期講習では、応用編に移ります。

## Sコース「受験・特別コース」

(講師：岩田 美香)

春休み期間では、基礎をしっかりと固めるために、デッサン、水彩画、デザインを基本から学んでいただきました。その他に中学受講生さんには、美術科授業対策をして内申成績アップに繋がるようじっくりと制作に取り組んでいただきました。夏期講習では、志望校に合わせて受験課題に取り組んでいただきます。

## まんが入門コース

(講師：笹木 香里)

小学生の方が2ページのストーリー漫画に挑戦して頂きました。4コマまんがとは異なりコマ割の大きさや構図の見せ方などに工夫が必要となります。そして作業量も増えるので大変になりますがとても丁寧に慎重に原稿を仕上げていました。成人の受講生の方はオリジナルのイラストを制作して頂きました。人体のパーツの捉え方などからお伝えして、悩みながら下書きからペン入れまでを一生懸命にこなしていました。5月から月に1度のテクニック応用コースも始まりますので是非ご参加下さい。

## 点描画の入門コース

(講師：佐藤 香織)

こちらのコースは お試し→入門→応用→発展 と進んでいく仕組みになっています。お試し・入門コースでは黒ペンを。応用では色ペンを使います。今回継続してご受講して下さっている生徒さんが何回目かの発展コースとなりました。発展は自由度が高く、更に点描での表現を追求したい方に向けたコースです。前回はパネルに水張りをすることも含めた制作でしたが、今回は20角の黒マット紙に合う正方形の作品作りをして頂きました。今回もおのの描きたいモチーフを点描でしっかり表現して下さい、より密度の高い作品になったと感じております。

# 夏期特別講習2022

今回も充実した内容をたくさんご用意しております。講習期間中もお申し込みいただけます。たくさんのご参加お待ちしております。詳しくは各コースのご案内プリント、HPをご覧ください。

**受講会場** リボンハウス絵画教室 大通教室（住所：札幌市中央区大通西6丁目6-9クリーンビル3F）

**期間** 2020年7月23日（土）～8月21日（日）予定（日程が変更になる場合があります）

- Aコース「2才、3才児 60分・年少組 90分・園児 150分コース・小学生自由研究 150分コース」
- Bコース「園児・小学生クラス 絵画の基本特別コース」  
☆ずこうのきほん（年少組 90分～小学4年生）  
☆デッサンの基本・透明水彩の基本・デザインの基本（小学3年生～小学6年生）  
☆美術ステップアップコース（デッサン・透明水彩・デザイン 各基本コース修了の方）
- Cコース「中学美術科授業対策コース（170分）」（岩田講師クラス）（小学5年生～中学3年生対象）
- Dコース「芸術コース（180分）」（岩田講師クラス）（高校生以上対象）
- Sコース「受験・特別コース」（7/23～8/17 開講）
- まんが入門コース（小学3年生～大人の方対象）  
☆ステップ1「4コマまんが入門 90分コース」 ☆ステップ2「ストーリーまんが入門 120分コース」  
☆まんがスキルアップ 120分コース（ステップ2を修了された方）
- 点描画の入門コース 120分（小学生 90分）（小学1年生～大人の方対象）  
☆点描画お試しコース（2回） ☆入門コース（3～5回） ☆応用コース（3～5回） ☆発展コース（3～5回）

**申込み受付** 夏期特別講習中も受講をお申込みいただけますが、定員になり次第、締め切らせていただきます。

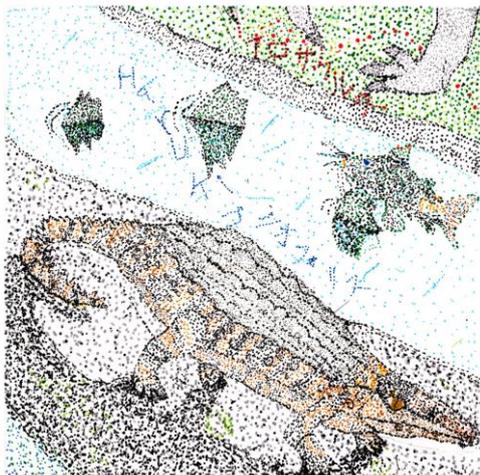
## お申込み先・お問い合わせ

TEL 011-232-6715 FAX 011-232-6715

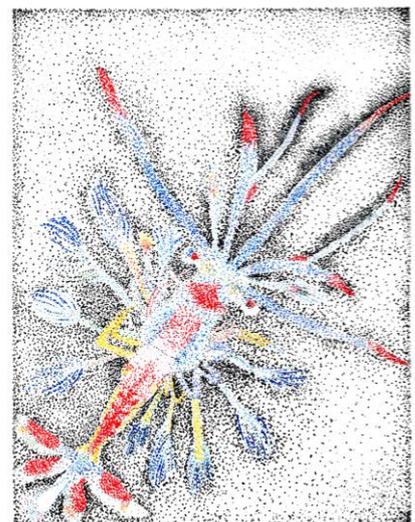
（※教室が閉室の際はFAXが繋がりません。お手数ですが、開室時に再度FAXを送信してください）

MAIL ribbonhouse\_artschool@yahoo.co.jp

**時間** スケジュール表をご覧ください。（講習期間中も受講受付しております。お気軽にお申込みくださいませ）



◀点描画の発展コース（小6男子）  
「川辺で休むゴニオフォリス」



点描画の発展コース（小6男子）▶  
「不死鳥のように」



### ◇幼児・小学生コース (講師：齋藤 来瞳)

一年の集大成だったクリスマス展示会を終えて、ほっと一息したのも束の間、通常レッスンでは春の作品作りに元気に取り組む生徒さんの姿が見られました。幼児・小学生コースでは、ひな祭り制作や母の日の制作等の造形もしました。ひな祭り人形も母の日のバラも、作り方や完成の形こそ決まっていますが、好きなキャラクターをひな人形にしてみたり、お母さんの好きなものをモチーフにしてみたりと個性を出して思い思いの形で表現できていました。

### ◇一般コース (講師：岩田 美香)

新年度に入って新しい顔ぶれが増え、新たな気持ちでスタートしました。デッサンでは、石膏デッサンや静物デッサン、人物クロッキー、手のクロッキーをしました。また、今年のテーマのピーマンをモチーフにしたデッサンと水彩画も行いました。油彩画制作も多く、コンクールやクリスマス展示会に向けて進めてくださっております。小学生さんは、様々なコンクールに挑戦してどんどん上達されております。

### ◇アビターレ・テイサービスレッスン (講師：岩田 美香)

2014年の5月から毎週木曜日の午後に透明水彩画のレッスンを行っております。季節の花や野菜果物をおよそ45分で仕上げます。どのメンバーさんも1レッスンで完成するためにとっても真剣です。ご高齢の方ばかりなのですが、集中力と研究熱心さにいつも感激しております。5月に103歳になられたご婦人もどんどん上達されております。制作後の講評では、しっかりと聴いてくださり、お互いに誉めあったり、励まし合ったりして大変嬉しく思っております。展示会での発表が楽しみです。

### ◇受験・特別コース (講師：岩田 美香)

個別指導で志望校の受験課題にじっくりと取り組んでいただくコースです。受験生でなくても時間にとらわれずにご都合に合わせて何度でも受講していただけます。未来に向けて個性と創造性を高めるために是非受験・特別コースで制作をしていただけたらと願っております。皆様のご参加をお待ちしております。

### ◇テイケアクリニックレッスン (講師：岩田 美香)

1999年の8月から金曜日の午後に色鉛筆画や透明水彩画等の制作を行っております。季節の花や野菜果物の静物画の他にまんがイラスト、油彩画も制作しており、個性と創造性に溢れたレッスンとなっております。9月からの本格的なクリスマス展示会制作に入るまで、どんどん作品を完成していただけたらと願っております。

### ◇クラーク記念国際高等学校美術デザイン授業 (講師：岩田 美香)

昨年より、美術デザイン科の授業を受け持っております。1年、2年、3年生合同授業を水曜日の午後に2コマ行います。初回は、オリエンテーションを兼ねた授業で昨年度と同様に母の日のメッセージカードを制作しました。お花のデザインを色鉛筆で自由に描いていただきました。独創性に富んだデザインが多くて、これからの制作がとて楽しみとなりました。今年度もデッサン、透明水彩、デザインを中心に行います。クリスマス展示会にも展示参加しますので、アクティブに授業を行いたいです。

ペンネーム：kato「飲食」▶



▲ペンネーム：Riko  
「夏だ！海だ！アイスだ！」

ペンネーム：さとばっか▶  
「春ニャンコ」



◇今につながる自由研究 (講師：笹木 香里)

私の一番思い出深い自由研究は小学2、3年生の頃に作った「自作の4コマ漫画本」です。白い紙に鉛筆で書いた8ページ程のものですが、1つずつのお話を一生懸命考え、頑張って書き上げた記憶があります。現物はもうありませんがいくつかのネタは今でも覚えています。内容はあまり面白くなかったのですが、それが今の私の特技に活かされていると思いますし、この時の自分に「よく最後まで頑張って描いたね」と言っておあげたいです。

◇現代の自由研究 (講師：冬野 英代)

私が小学生の頃は、模造紙やノートに調べたことをまとめて発表するというのが主流でした。最近、娘の学校ではパソコンで研究結果をスライドにまとめて発表するというやり方が主流になってきました。学級の全員がタブレットを持っているので、発表最中も自分のパソコンで見ることができてとても便利です。調べる方法も、今ではネットの情報が溢れていて、手軽に手に入れることができます。それを厳選し、確かな情報なのか自分で考えることも大切なことですね。「今の時代に生まれていたらなあ」と、今を生きる子供たちが少し羨ましいなと思いました。

◇思い出の自由研究 (講師：澁谷 希李)

自由研究といえば、小学校高学年の頃に模造紙に土方歳三についてまとめた新聞を制作したことが強く記憶に残っています。函館旅行に行った思い出とともに、五稜郭や土方ゆかりの地を探索したレポートと新撰組についてをまとめました。内容はもちろん、装飾にも時間をかけて制作し、色塗りを家族に手伝ってもらいながら完成させたので、大切な思い出の一つです。

◇自分の絵を見てもらうことの嬉しさ

(講師：山内 裕美子)

私は小学6年生の頃、夏休みの自由研究として、スケッチブックに何枚か、色鉛筆画やデッサンを描いていました。私は当時から何かをよく見て絵を描くことが好きだったので、自分のスケッチブックにいつも絵を描いていました。なので、自由研究というよりは普段よりも頻度を上げて描いた絵をみんなに見せるというような感覚でした。当時、私が夏休みの自由研究として描いた絵のモチーフは、「トマト」「朝顔」「ピーマン」「靴」(当時習っていたバドミントンのシューズ)「サンデリアーナ」(当時家で育てていた観葉植物)です。自分で描きたいものを自由に描いて、それを自由研究として学校に持っていくと友達がすごく興味を持って感心してくれたり、褒めてくれたのがとても嬉しかったことを覚えています。

◇あの頃の延長

(講師：佐藤 香織)

自由研究の思い出…何をいつ作ったのかあまり覚えてないのですが、祖母から編み物を教わって鍋敷きを編んでみたのと、絵の研究をして気付いたことを自分なりにノートにまとめて提出したのと、カレンダーの制作をした記憶だけは残っています。あとは全然思い出せませんでした。この「覚えている・覚えていない」の違いはなんなんだろうというも不思議に思います。編み物は今はやっていませんが、カレンダー作りや絵の表現の追求は今でも継続していて、昔から変わってなくてそれも不思議に感じます。このように自由研究の延長を大人になっても続けている事例があるので将来リボンハウスの生徒さん達の中にも同じような方がいらっしゃるかも…?

◇宝石図鑑

(講師：齋藤 来瞳)

私の自由研究の思い出は、友達と合作で「宝石図鑑」を模造紙いっぱい作ったことです。小学3年生の当時はキラキラするものが本当に大好きで、友達と図鑑をみてわくわくしながら難しい立体を自分たちなりに表現していました。教室の生徒さんたちも図鑑を眺めるのが好きな子たちが本当に多いように思います。自分の好きなものを真っすぐ好きと表現できるその心をいつまでも忘れないで大切にしてほしいなと思います。

◇苦い記憶と感謝

(講師：石川 潮音)

自由研究には正直あまりいい思い出がありません…というのも、宿題や授業で取り組む課題のように与えられたものをこなすことは得意なのですが、自分で自由にテーマを決めてそれを突き詰めるのが苦手だったのです。(実はこの苦手意識は現在も変わらず、大学院での研究に苦しめられるたび小学生の頃の夏を思い出します。笑)しかも、テーマは自由といっても学びとして残るものでなければならず、好きだったゲームのことを調べて先生に叱られたり、いつまでもテーマが決まらず母に叱られたり…苦い記憶が蘇ります。なので、自由研究と工作が選べるようになった小学4年生からはずっと工作を選び続けていました。そのおかげでもっと図画工作が好きになったので、ある意味感謝しています。

◇初めての風景画

(講師：塚本 愛菜)

小学校中学年の夏休みに風景画を描いたことが1番思い出に残っています。私はそれまで授業外で絵の具を使って絵を描いたことがありませんでした。カレンダーの海の写真を何点か真似して描いたのですが、空は下から上に段々濃くグラデーションで、海はその逆のグラデーションで塗ろうとその時なりに工夫したことを今でも覚えていることが嬉しいです。自由研究に限らず、自分の絵を見返した時に「あの時ここ意識して塗ったな」とか「この模写の時に、一色に見えるけど何色も乗せてその色を作ってることに気づいたっけ」と、後になって意識したことがひとつひとつ思い出せる所が絵を描くことの魅力の一つですね。

## ◇ヒマワリの思い出 (講師：岩田 美香)

私が小学生の頃は、夏休みも冬休みも宿題が多くてきちんと計画を立てないとびた君やカツオ君状態になりかねませんでした。その中でも『自由研究』は目玉で夏冬休み明けにクラスで発表することになっていたのでみんな力を入れて取り組んでいました。

リボンハウスの特別講習では、自由研究に活用出来る制作内容をご用意しているので、毎回たくさんのご参加をいただいております。特別講習の制作内容を決める会議では、皆さんに気に入ってもらえるよう講師全員で教材研究に取り組んでいます。

私が自由研究の中で一番思い出に残っているのは、小学1年生の夏休みに制作したヒマワリの水彩画です。夏休みに入る前から母が入院してしまったので、姉と二人で苦小牧の親戚に預けられました。そこは札幌に比べるとかなり田舎で、いとこ姉弟と毎日原っぱや海で駆け回って過ごしました。近所に牧場があって毎朝牛乳をもらいに行ったり、池でオタマジャクシを採ってカエルになるまで観察しました。今思えば、姉と私は『となりのトトロ』に出てくるさつきちゃんとメイちゃんみたいでした。でも小学1年生と言ってもまだ幼かったので、母やお家が恋しくて毎日夕方になると夕陽を見つめながら誰にもわからないようにこっそりと泣いていました。

夏休みの宿題もみんなでした。自由研究はみんなでヒマワリを描くことになりました。私は斜めから見たヒマワリを描き、バックはスカイブルーに仕上げました。おじさんもおばさんもおほめてくれました。絵を両親以外に褒められた経験はそれまで無かったのでとても嬉しかったです。その時から絵に目覚めたのかもしれません。

小学生としては最後となる6年生の冬休みの自由研究では、その頃YMCAで英語を習っていたので『3匹のこぶた』を英語の紙芝居に仕立てました。休み明けの発表のあとにYMCAのレッスンで紙芝居を発表したらとても好評を得て英語の教材として使っていただくことになりました。

ヒマワリの絵も3匹のこぶたの紙芝居も手元には残っておりませんが、今でもしっかりと覚えております。その後絵を描くことが日常となり、高校1年の冬休みには「サンエンス」等を参考にしながら地球の誕生と成長について研究して、イラストをふんだんに添えて100ページ程の論文にまとめました。論文制作がとても楽しくて、高校の授業で地学が無かったのですが、独学することができました。冬休み明けに大好きな地理の先生に添削してもらい高評価をいただきました。

何か課題を見つけてじっくりと取り組むことが未来の自分にとって道しるべになると言うことが、大人になって気付きました。皆さんも勉強や部活、習い事、趣味など何でもいから大人になるまでにとことん取り組めば自分の人生に必ず力になってくれるはずですよ。

今年の夏休み期間も是非リボンハウス絵画教室で自由研究に取り組んでください。ご参加を心よりお待ちしております。

## ◇読書と解説文の楽しみ (講師：笹木 香里)

小さい頃も今も読書は好きですが昔は書いてある文章の意味が分からないことが苦手意識でした。今では気にしなくなりましたが、それは「分からなかった」ことは覚えておくようにして、読み終わってから巻末に載っている解説文を読むようにしたのです。すると全てではありませんが、解説文の中にヒントや答えが含まれていて「そういう意味だったのか」と気付かされるのが楽しくなりました。たまに解説の中でも作者の意図が不明というように書かれていると「分からなくても良かったんだ」と安心することもあります。作品の本文だけでなく解説文や作者あとがきにも目を通してみると意外な視点から楽しんでお勧めです。

## ◇夏のお仕事 (講師：佐藤 香織)

うさぎを飼い始めてから毎年夏になると以前にはなかったある作業が増えました。その作業の工程は ①手を保冷材で冷やす ②暑さでまいてるダレたうさぎを冷えた手でなでるといものです。今や夏の重要な作業になりました。そういえばうさぎに限らず、犬を飼っていた時は犬にも同じようなことをやっていました。飼い主も動物も嬉しい夏にしかできないことなのでまだやったことのないうさぎ・犬飼いの方にオススメです。猫は飼ったことがないのでわかりません。

## ◇物書きとしての第一歩 (講師：齋藤 来瞳)

なんでも三日坊主になってしまう私。そんな私が去年から続けられているのが日記です。去年の11月頃から心に響いた言葉や学んだことをひとこと書く、という単調なものですが、振り返ってみるとあの頃はこんなことを考えてたんだな～と脳が整理されていく感じがしてとても自分に合っています。最近まで就活をしていたのですが、自分の好きなコトや大切にしているコトを知るのにもとても役に立ちました。忙しい日々で、中々心を大切にできていないことも多いですがそんな私にとって日記は自分を知るためのひとつのカタチとしてこれからも続けていきたいです。

## ◇視覚から涼む (講師：渋谷 希季)

近年の夏の暑さはなかなか耐え難いですよね。私も少しでも涼しくなれないかと常々考えてしまいます。ところで皆さんは、色で体感温度を下げられることをご存知ですか？色彩心理学では、インテリアのベースを暖色にした時と寒色にした時では体感温度に3度も差が出ると分かっています。体感でも3度はなかなか大きいですよね。この酷暑、視覚からも涼しさを取り入れてみると、ほんの少し楽に過ごせるかもしれません。

### ◆**念願の〇〇自転車** (講師：冬野 英代)

実は、今年のお正月に初売りで大きな買い物をしました。購入したのは、電動自転車です。秋ぐらいからずっと欲しいなと思いつつ購入を考えていたものの…「高いからやめよう」と断念していました。それが、なんと理想的な価格に下がっていて、さらに春がきたら家まで郵送してくれるという特典付き！これは買うしかないと即決しました。先月、念願だった電動自転車がようやく家に届きました。家の周りが坂だらけで、普通の自転車だと辛い坂が電動自転車なら軽々と登れます。驚くほど快適で、もう普通の自転車では満足できないほどになりました。時間があれば、今度はどこまでサイクリングしようかなと楽しみが広がりました。本当によい買い物をしたと今さらながら初売りで出会えたことに感謝しています。

### ◆**暑さの克服と思い出づくり** (講師：石川 潮音)

暑さは苦手なのですが、キャンプやサーフィンやお祭りなど、夏ならではのアクティビティやイベントが大好きです。また、ファッションも大好きなのですが、夏はTシャツだけで歩けるのでそれが嬉しく、毎年Tシャツを購入してしまいます。学生最後の今年の夏のテーマは「暑さの克服と思い出づくり」！新しく買ったTシャツを着て、友人と遠くまでドライブがてら海に行ったりキャンプしたり、あえて暑いところに旅行したりしたいなと考えています。

皆さんは今夏何をする予定でしょうか？色々な経験をすることが制作の刺激になると思うので、何かひとつテーマを設定して、是非自分の目や耳や足を使って経験値を増やす夏にしてくださいね！

### ◆**私を支える、私が好きなこと** (講師：山内 裕美子)

私は幼い頃からずっと美術が好きです。自分で絵を描くことも、他の誰かが描いた絵を見ることも好きです。一方で、実は私は運動することも好きで、中学、高校とずっと運動部に所属しており、毎日ジャージを着ている体育会系女子でした。中学生の頃はソフトテニス部、高校生の頃は陸上部で長距離選手として毎日きつい練習に励んでいました。陸上部の頃は、毎日の朝練、放課後の練習と筋トレなど、今より少しでも速く走れるようになりたくて毎日必死に練習していました。私は一見そのような人に見えないらしく、大学に入ってからこの話をするととても驚かれます。ですが、仲良くなるにつれ、納得する人が多いです。私は幼い頃から、何かストレスがかかることがあると、運動靴を履いてその辺を走りに行ったり、スケッチブックを引っ張り出してきて絵を描いたりしていました。私の好きなことはいつも私を支えてくれていて、今もそれは変わりません。今、大学で絵を描く時にも、運動部時代の思い出はいつも私を励ましてくれます。これからも自分は自分で、好きなことを大切にしていきたいと思います。

### ◆**趣味** (講師：塚本 愛菜)

趣味で日常の一瞬を切り取る短歌にハマり、自分も作ってみたいと思うようになりました。おかげで日常の些細な出来事でも自分の言葉に置き換える癖をつけたり、一つ一つ立ち止まって考えたり感じようとするを意識するようになりました。今では嬉しいことだけでなく、悲しいことや寂しいこと、日常で感じたこと全てに価値があるように感じます。趣味って日々の生活に彩りを与えてくれるなって実感しました。

## ☆ **新しい講師の紹介** ☆

### 石川 潮音 (いしかわ しおね)

初めまして。石川 潮音と言います。珍しい名前だねと言われてきたのですが、リボンハウス絵画教室にはもっと珍しい名前の先生や生徒さんがたくさんいらっしゃって驚いたと同時に、勝手に親近感を抱いています。

私は物心がついた時から美術に触れることが好きでした。覚えていないのですが、2歳の頃にはすでに絵を描いていたそうです。

まだレッスンに参加した回数は多くありませんが、生徒さんたちの個性が全面に出ている作品を見るととてもワクワクします。個性を伸ばせるような環境づくりを目指し、一緒に楽しい時間を作っていけたらと思います。至らない点も多々あるかと思いますがどうぞよろしくお願いいたします。

### 山内 裕美子 (やまうち ゆみこ)

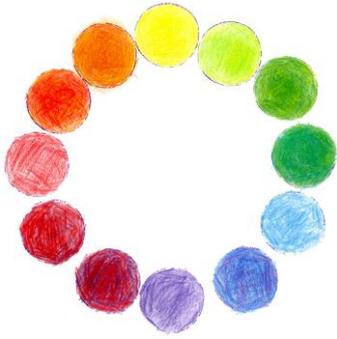
はじめまして。希李先生の紹介で入りました、山内裕美子です。北海道教育大学、版画工作・美術教育分野の学生です。私は幼い頃から絵を描くことが好きで、今も大学で絵を描いています。子どもたちの自由な発想を大切にしながら、大学で美術教育について学んだことを生かせたらな、と思っています。子どもたちがいろいろなことを考えて制作をしている様子を見るのはとても面白く、勉強になります。これからどうぞよろしくお願い致します。

### 塚本 愛菜 (つかもと あいな)

はじめまして！4月から幼児・小学生コースの講師アシスタントをさせて頂いております、塚本愛菜と申します。普段は大学で色んな絵の具を使って絵を描いています。日々発見があって楽しいです。生徒さんにも表現することの楽しさや面白さを感じていただけるようお手伝いできたらと思います！よろしくお願い致します。



# 春期特別講習 2022 生徒さんの作品



Bコース (小3) 「色相環」



Rika

Bコース (小4) 「シャインマスカット」



Tomo

Bコース (小6)  
「暖色と寒色のグラデーション」



Bコース (小1)  
「うどんどうかい、おいのり、プレゼント」



Bコース (小1)  
「ディズニーランドに行ったよ」



Cコース (小5) 「銀河」



Cコース (小6) 「夜花」



Sコース (中3) 「花と花瓶」



 大通教室 (本部) 〒060-0042  
 札幌市中央区大通西6丁目6-9 クリーンビル3階  
 アビターレ・デイサービス教室 / 大通ダイケアレッスン教室  
 クラーク記念国際高等学校大通キャンパス美術デザイン科  
<http://www.ribbonhouse-artschool.jp/>